



日越お正月 2026

▶ 日越お正月 2026 を開催! 日越文化の融合を祝う華やかな一日

1月17日、ホアラックキャンパスにて、旧正月（テト）の訪れを前に、ベトナムと日本の文化交流を象徴する恒例イベント「日越お正月2026」を開催しました。本イベントは、学生たちが主体となって企画・運営を行い、学生課や青年組合、日越文化クラブなどが連携して実施されました。

会場ではベトナムの伝統的な正月料理である「バインチュン（ちまき）」作りコンテストが行われ、学生たちが手際よく葉で米を包む姿が見られました。また、日本の伝統文化であるけん玉や書道、日本の屋台料理なども振る舞われ、キャンパスは日越両国のお祝いムード一色に染まりました。

本イベントは、参加者が両国の伝統文化に触れ、相互理解を深める貴重な機会となりました。

今月号の内容

- 日越お正月 2026 を開催! 日越文化の融合を祝う華やかな一日
- インターンシップ報告会を開催 (修士課程 MBA プログラム)
- 質保証セミナー「授業科目の到達目標の構築・測定・評価」を実施
- 学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム (BCSE) JICA 専門家 本多敏先生のご紹介
- BRIDGE Program 2025 報告会を開催
- 理系学生向け日本採用キャリアセミナー・個別企業就職説明会を開催

▶ インターンシップ報告会を開催 (修士課程 MBA プログラム)

12月26日、修士課程 MBA プログラムのインターンシップ報告会が開催されました。日越大学の修士課程では、必修科目としてインターンシップが含まれており、その活動の一環として、2017年から2025年までの間、JICAの支援の下で日本の大学の研究環境に触れるための訪日インターンシップを実施してきました。(2020年と2021年は、コロナ禍のため実施せず)。2025年のMBAインターンシップでは留学生1名を含む7名が横浜国立大学(YNU)でのインターンシップ、1名がベトナムでのインターンシップを行いました。報告会では、YNUでのインターンシップに参加した学生は、訪日中に体験した講義、ゼミ、企業訪問、文化体験について発表し、ベトナムで実習した学生は現地企業での研究・実習の成果を報告しました。学生からは「YNUでのインターンシップは、学びの多いかけがえのない経験でした」などの声が寄せられました。ミャンマーからの留学生からは、「インターネットで見るとは全く違う日本を実感し、文化や日本の働き方をより深く理解できた」といった声が寄せられました。



報告会の様子

▶ 質保証セミナー「授業科目の到達目標の構築・測定・評価」を実施

1月20日、教育試験・質保証課は「授業科目の到達目標(CLOs)の構築・測定・評価」をテーマに質保証セミナーを開催しました。前半のセッションでは、「PDCAからPDSAへの体系的変革」と題して本多敏先生(BCSE)が成果重視教育(OBE)の実現に向け、従来の管理的なPDCAから、データに基づき「学びと改善」を深めるPDSA(Plan-Do-Study-Act)サイクルへの転換の重要性を述べました。また、ディプロマ・カリキュラム・アドミッションの「3つのポリシー」の整合性や、ルーブリック評価を通じた教育の透明性確保の重要性を強調しました。後半は桃木至朗先生(FISS)が「リベラルアーツ課程における運営経験」について発表しました。リベラルアーツを「専門能力(アプリ)を機能させる共通OS」と定義し、異分野間の協働スキルとしての重要性を解説しました。また、学年混在型ゼミナール等では学習成果の個別設定が必要であること、画一的な評価による「部分最適の合成の誤謬」を避けるための体系だった指導体制が不可欠であると論じました。質疑応答では、Nguyễn Thùy Dương 課長と共に、ベトナムの規定と日越大学独自の教育理念の調和や、多様な学習成果を包摂する評価モデルについて、建設的な議論が展開されました。(参考: 過去の質保証セミナー [2025年8月号](#)、[11月号](#))



学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラム (BCSE)

JICA 専門家 本多敏先生のご紹介

今月号では、学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラムを中心に日越大学を支援している本多敏先生より、先生の研究内容やご経験についてについてお話を伺いました。

日越大学の専門家に着任する前は何をされておりましたか。

慶應義塾大学理工学部物理情報工学科で2017年まで信号処理・逆問題解析などを研究してきました。教育分野では工学教育の質保証のために日本技術者教育認定機構(JABEE)の活動を主として電気分野で認定審査を行っています。実質的同等性という概念で認定プログラム卒業生を同等に扱えるようにするための国際協定の協定審査員として、他国の認定制度の評価に従事しています。



質保証セミナーで発表中のBCSEプログラム 本多敏先生

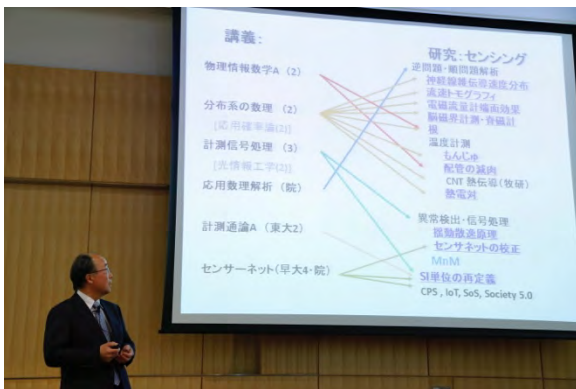
計測工学・センシングシステムが研究分野になります。なかでも、センサーから得られた信号に数理的な分析・処理によって、必要な情報を得ることをテーマとしてきました。具体的には、脳波・脳磁界などの生体情報や植物の根の地中での成長形態の推定手法などを対象としてきました。

日越大学のBCSEプログラムの特徴について教えてください。

学部コンピュータサイエンス&エンジニアリングプログラムは、その名の通り、ソフトウェア工学・データサイエンスとAI、埋め込みシステムとIoT、VLSI、フィンテックという5つの分野を基礎から応用まで幅広く教育している学科です。今年度から開設された修士課程プログラムとともに日越大学のインターディシプリンを支える情報系のプラットフォームを提供する学科と言えます。

日越大学の印象を教えてください。

ベトナムは初めてですが、日本で慣れ親しんできた大学システムとの文化・システムの違いに驚きながら、楽しんで活動しています。成長過程にあって、いろいろな問題を抱えながらも発展しつつあるという印象です。若くて優秀な先生方が必死で頑張っているのを見ると、しっかりサポートしなければ、と元気をもらっています。



慶應義塾大学での最終講義の様子

先生の研究分野について教えてください。

▶ BRIDGE Program 2025 報告会を開催

1月19日、昨年10月から12月にかけて実施された「BRIDGE Program 2025（大学職員交換研修プログラム：Building Reciprocal Insights through Diverse Global Engagements）」の成果報告会が開催されました。

本プログラムは、日越大学の職員が提携する日本の大学を訪問し、大学運営の実務やノウハウを学ぶ研修です。今回は、法政大学（10月25日～11月8日、3名）、早稲田大学（11月30日～12月9日、2名）、立命館大学（12月3日～12月13日、3名）、拓殖大学（12月14日～12月19日、1名）のご協力のもと、各大学での職員研修が実現しました。

研修内容は、訪問する職員の要望に合わせて各大学により調整・提供されたもので、今回の報告会は、参加職員が得た学びや教訓を学内で共有する貴重な機会となりました。

当日は受入大学の関係者も出席し、参加職員への温かいメッセージと共に、今後の継続的な協力関係が再確認されました。また、職員からは「今回の報告にとどまらず、日越大学の実務改善に向けた具体的な提案につなげてほしい」といったコメントも挙がり、研修の成果を今後の大学運営に活かしていく決意を新たにしました。



BRIDGE プログラムとその報告会の様子

▶ 理系学生向け日本採用キャリアセミナー・個別企業就職説明会を開催

2025年10月から12月にかけて理系学生向けに複数の企業(株式会社タマディック、穴吹カレッジグループ、キャル株式会社、G.A. CONSULTANTS VIETNAM、東京水道株式会社)の個別就職説明会が開催されました。その結果、日越大学で日本語能力試験(JLPT) N2からN4レベルの語学力を持つ理系学生には、多数の企業から日本採用の内定を獲得しました。(参考: [合同説明会 Career Design Week 2025 \(2025年4月号\)](#))

今回の成果は、多くの企業様が日越大学の個別説明会に積極的にご参加くださったことによるものと考えております。今後もこうした機会を継続的に提供してまいりますので、ご関心をお持ちの企業の皆様は、ぜひ参加をご検討ください。



東京水道株式会社の説明会の様子



東京水道株式会社で働くMEE03修了生 Dr. Phạm Thị Kiều Chinh の経験共有セッション

■ 日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/>

日越大学 Facebook

<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

JICA プロジェクトページ (ODA 見える化サイト、メルマガのバックナンバーもこちらから)

<https://www.jica.go.jp/oda/project/1901195/index.html>

■ 産学連携・採用に関する問い合わせ

E-mail: cooperation@vju.ac.vn

■ メルマガに関するお問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクトメルマガ編集部

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト